

よくある質問

株式会社全銀電子債権ネットワーク
(でんさいネット)

よくある質問

- これまでのセミナーの「質疑応答」、当会社ウェブサイト・コールセンターに寄せられた質問と回答をご紹介します。

よくある質問

■ 支払企業からの質問

質問	回答
取引先に小切手を振り出していますが、でんさいに切り替えることは可能でしょうか？	小切手と違いでんさいの場合には、支払期日を定める必要があります。発生日から支払期日まで3銀行営業日が必要です。小切手を取引先に振り出す場合、 取引先が小切手を受領してから資金化されるまでの期間が3銀行営業日以上であれば、でんさいを利用することも可能です。 なお、3銀行営業日未満の期間での資金化が必要な場合には、インターネットバンキングでの振込による代替が考えられます。
手形を用いた高額な支払いの場合、手形を何枚かに分割してほしいと取引先に要望されますが、でんさいの場合はそのように複数発生（振出）させる必要はなくなりますか？	でんさいには譲渡・割引時に、必要な金額だけ分割できますので、発生（振出）の時点で複数に分ける必要はございません。
でんさいを発生（振出）させる際、承認者が承認した後に誤りが判明した場合、システム上どのような対応になるのでしょうか？	発生されたでんさいの内容に誤りがあった場合などは、取消や債権内容の変更が可能です。
取引先がでんさいを利用していませんが、でんさいで支払うことはできますか。	取引先がでんさいを利用していない場合は、でんさいで支払うことはできません。 でんさいで支払をするためには、支払側だけでなく、受取側(債権者、譲受人等)も利用者になる必要があります。

よくある質問

■ 受取企業からの質問（1 / 2）

質問	回答
現在、取引先が振出した紙の手形をでんさいに変更することはできますか？	取引先がすでに振出した紙の手形をでんさいに変更することはできません。紙の手形からでんさいに移行する場合は「●年●月以降」のように期日を区切り、取引先にご案内ください。
手形・小切手は交換日に資金が入金され受取企業の預金残高に反映されますが、実際に資金を利用できるのは翌銀行営業日以降です。でんさいは支払期日から資金を利用できますか？	でんさいの場合、受取企業は支払期日に入金され次第資金を利用できます。実際の入金時刻は、支払企業の資金準備状況や金融機関によって異なります。
今までは手形を割り引いて資金繰りを行っていたのですが、でんさいではどのようにすればいいですか？	手形と同様、でんさいも割引を行い、支払期日前に資金化することが可能です。詳しい取扱いについては取引金融機関へお問い合わせください。
取引先から受け取ったでんさいは、受け取った当日に別の取引先へ譲渡できますか？	可能です。なお、発生の予約を受けたでんさいの場合、発生日が到来する前（予約期間中）でも、譲渡の予約ができます。

よくある質問

■ 受取企業からの質問（2 / 2）

質問	回答
<p>現在、X社から手形を受け取り、Y社へ裏書譲渡しています。でんさいは手形と同様に裏書譲渡することはできますか？</p> <p>また、裏書譲渡の操作はどのような手順でしょうか。</p>	<p>手形の裏書譲渡のようにでんさいも譲渡することが可能です。ただし、譲渡先もでんさいの契約をしていることが必要です。また、でんさいは一部の金額だけ分割して譲渡することや取引金融機関へでんさい割引に出すことも可能です。</p> <p>譲渡記録請求の操作は以下の3つの手順です。</p> <ul style="list-style-type: none">●対象債権の検索●譲渡情報の入力●上席者の承認 <p>でんさいの譲渡は、支払期日の3銀行営業日前の日までを記録日として譲渡記録請求を行う必要があります。なお、操作方法について詳しくお知りになりたい方は、取引金融機関にお問い合わせください。</p>

よくある質問

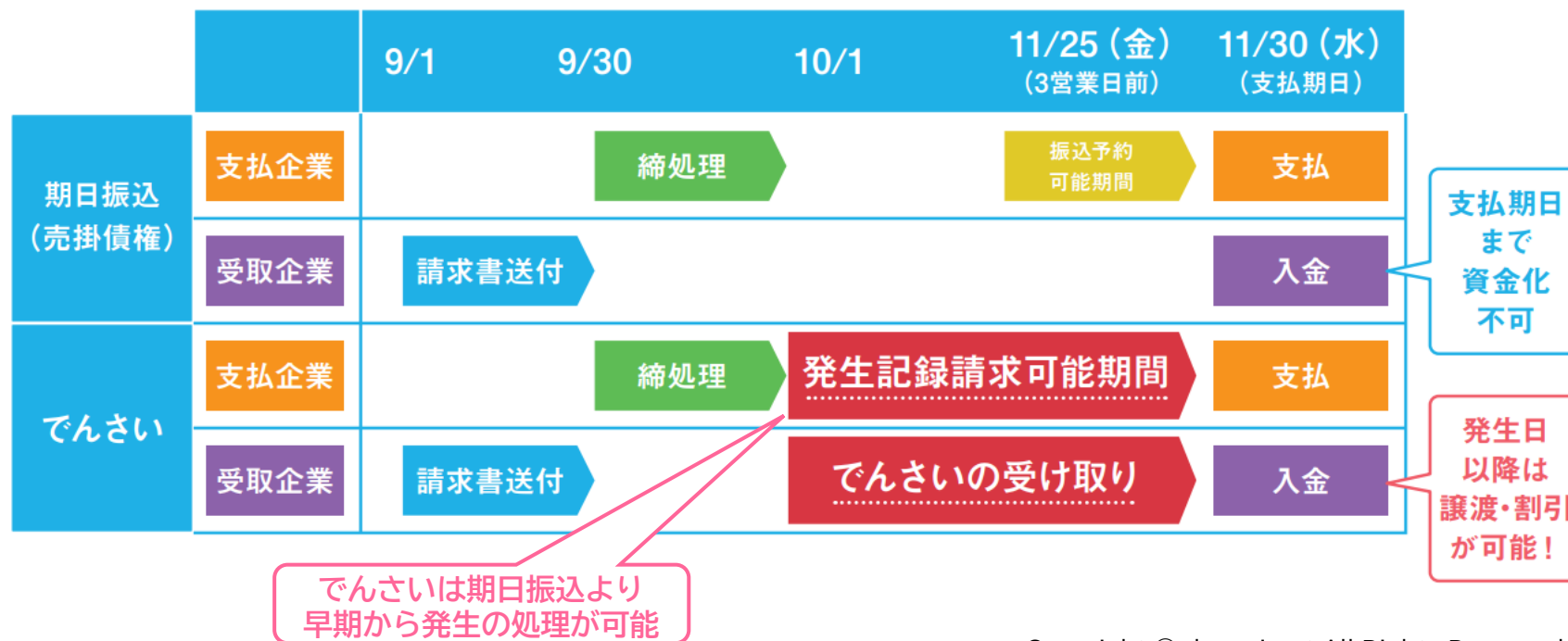
■ でんさいの仕組みに関する質問（1 / 2）

質問	回答
でんさいの利用料金を教えてください。	でんさいネットの利用料金は金融機関ごとに異なります。 発生記録手数料は1件当たり数百円、入金手数料は無料から1件当たり数百円の例が多く見受けられますが、詳しくは窓口金融機関にお問い合わせください。
でんさいの支払・受取方法について教えてください。	口座間送金決済による支払が原則です。支払期日になると、債務者口座から債権者口座へ 自動的に送金されます。振込や手形の取立のような手続は必要ありません。
でんさいの取引記録は何年間保存されていますか？	でんさいネットでは、債権が消滅した場合はその日から5年間、消滅していない債権については支払期日または最後の電子記録がされた日から10年間保存されます。 ただし、金融機関のIB上での表示は異なる場合がありますので、IBで債権を確認されたい場合は取引金融機関にお問い合わせください。
でんさい取引に係る手数料に関するインボイスは、どこから発行されますか。	窓口金融機関から発行されます。詳細はご利用の窓口金融機関にお問い合わせください。

よくある質問

■ でんさいの仕組みに関する質問（2 / 2）

質問	回答
期日振込とでんさいの違いを教えてください。	<p>指定した期日（支払期日）に、支払先の口座（決済口座）に資金が振り込まれるという点では同様ですが、以下の点が期日振込との違いになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 支払企業は早期処理（業務効率化）が可能 ・ 受取企業は支払内容の確認、他の取引先への譲渡による商品代金の支払への充当と割引による早期資金化が可能



よくある質問

■ 利用開始に関する質問

質問	回答
でんさいの利用を開始するための手順を教えてください。	最初に、取引金融機関に利用の申込 をしてください。その後、取引金融機関における一定の審査等を経て、でんさいが利用できるようになります（具体的な必要書類や手続については、取引金融機関にお問い合わせください）。
でんさいの受取と支払は同時に始めた方がいいですか？	受取のみ、支払のみからでも始めることが可能です。まずは受取から始め、操作に慣れてきたら支払利用をするという企業も多いようです。

よくある質問

■ 利用開始に関する質問（2 / 2）

質問	回答
複数の金融機関ででんさいを利用したい場合、それぞれの金融機関と契約が必要ですか？	複数の金融機関ででんさいを利用されたい場合は、 金融機関ごとに利用契約 をする必要があります。なお、お客さまを特定する 9桁の利用者番号は、1法人に対して1つ付与 されますので、複数の金融機関で利用される場合でも、同一の利用者番号をお使いください。

<例えば、これまででんさいをA銀行の口座で受け取っていたが、今後はB銀行の口座で受け取りたい場合>

B銀行ででんさいの利用契約を完了後、取引先には**利用者番号とB銀行の決済口座情報**を通知しましょう。なお、B銀行ででんさいの利用契約をされる際、A銀行で取得済の利用者番号をB銀行にお伝えください。

よくある質問

■ 取引先への案内に関する質問（1 / 2）

質問

でんさいを取引先に勧めたいのですが、案内資料等がありますか？

一度、でんさいへの切替に関する案内状（アンケート等）を送付した得意先から返答がない場合、次のアクションとしてどのようなことを行えば、得意先に切替を促すことができるでしょうか？

回答

ウェブサイト上に取引先向けの案内状や、メール作成ツールを用意していますのでご利用ください。

案内状



メール作成ツール



支払企業のアクションとしては、普段、約束手形を取引先に郵送する（振り出す）際に、手形と一緒に切替に関するアンケートを定期的を送付いただく例があります。

郵送ではアンケートの回答をいただけないようであれば、電話や訪問でご案内している企業も多いようです。

なかなかでんさいに切り替えていただけない企業の場合は、でんさいネットが講師を派遣するWeb説明会（取引先企業向け説明会）等を活用いただいたり、新チャネル（2024年中の提供開始を予定）を案内いただくことも考えられます。

よくある質問

■ 取引先への案内に関する質問（2 / 2）

質問	回答
支払企業から受取企業に送付する案内状サンプルはダウンロード可能ですか。	でんさいネットウェブサイトの「導入サポート」または「各種資料ダウンロード」から、 利用状況に合わせた案内状サンプルをダウンロードすることが可能です。 案内状の記入例も掲載 していますので是非ご参照ください。

でんさいネット
全国銀行協会の電子債権記録機関
全国電子債権ネットワーク

検索 参加金路線一覧を見る 契約者さま活用ガイドを見る

ホーム でんさいとは 事例紹介 導入サポート ご検討からご利用開始まで よくあるご質問

ホーム > 導入サポート

案内状サンプル

取引先に対し、でんさい切替の案内の際にご利用いただける案内状サンプルを用意しております。
事業者さまのご利用用途からお選びください。

支払利用

支払方法変更に関する案内状

支払企業（債務者側）から納入企業（債権者側）に対して、「でんさい」への
サンプルです。
※簡易版は、詳細版の内容を1枚に集約したものです。

[【詳細版】ダウンロード](#)

[記入例はこちら](#)

「案内状サンプル」はこちら。



- 支払利用者向け
- 受取利用者向け
- 各種サンプル（記入例）
をご用意しています。

よくある質問

■ 新チャンネルに関する質問

質問	回答
新チャンネル（2024年中の提供開始を予定）を利用する場合、どうしたら利用できるのでしょうか。	現行チャンネルと同様に、新チャンネルの利用申込は取引金融機関に行います （手続き等の詳細については、決定次第でんさいネットのウェブサイト等でご案内します）。 新チャンネルの利用画面はでんさいネットが提供し、IB契約は不要です。
新チャンネル（2024年中の提供開始を予定）を取引先に案内したいと考えています。新チャンネルは、新チャンネル同士でしか取引できないのでしょうか？	現行チャンネル・新チャンネルともに取引先のチャンネルを問わずにでんさいを利用できる仕組みとする想定です。そのため、 自社と取引先が異なるチャンネルを利用する場合でもでんさいを利用できます。

■ セミナーに関する質問

質問	回答
このセミナー動画は、後から見る事が可能なようにどこかに掲載されますでしょうか？	後日（1か月後を予定）、でんさいネットのYouTubeチャンネルに掲載予定です。